

令和 6 年度

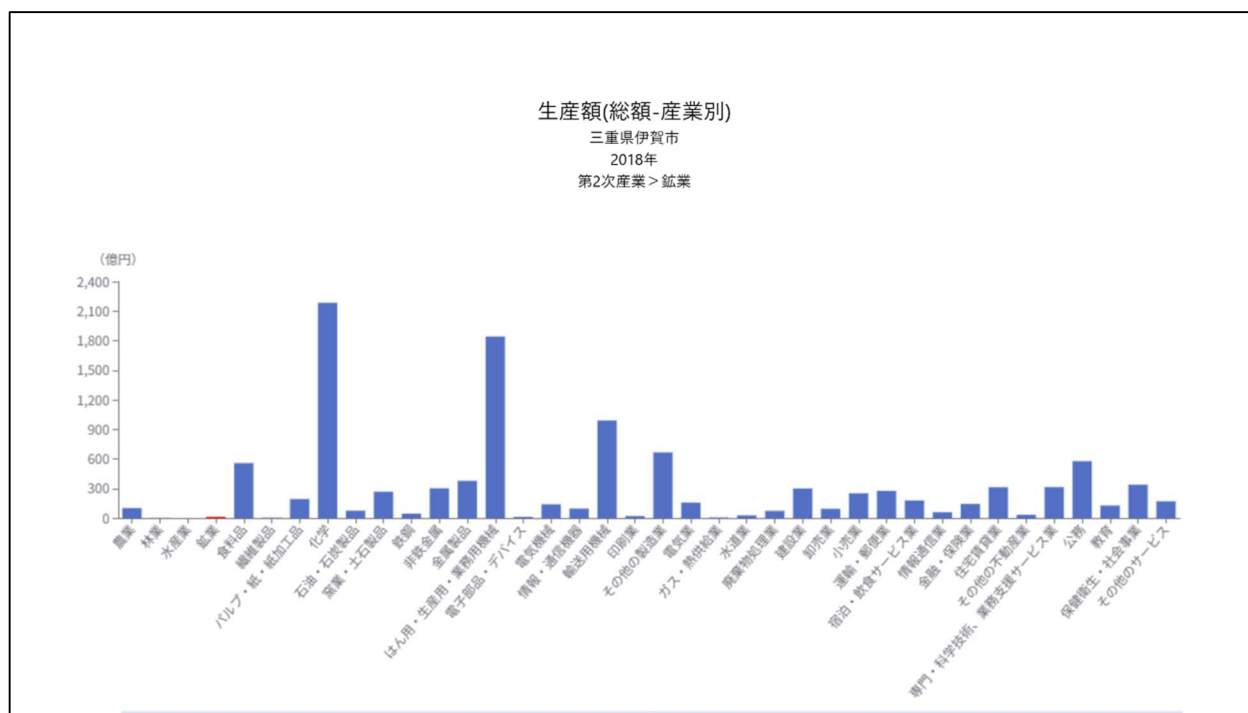
地域経済動向データ分析

【地域経済分析システム RESAS 活用】

令和 7 年 3 月

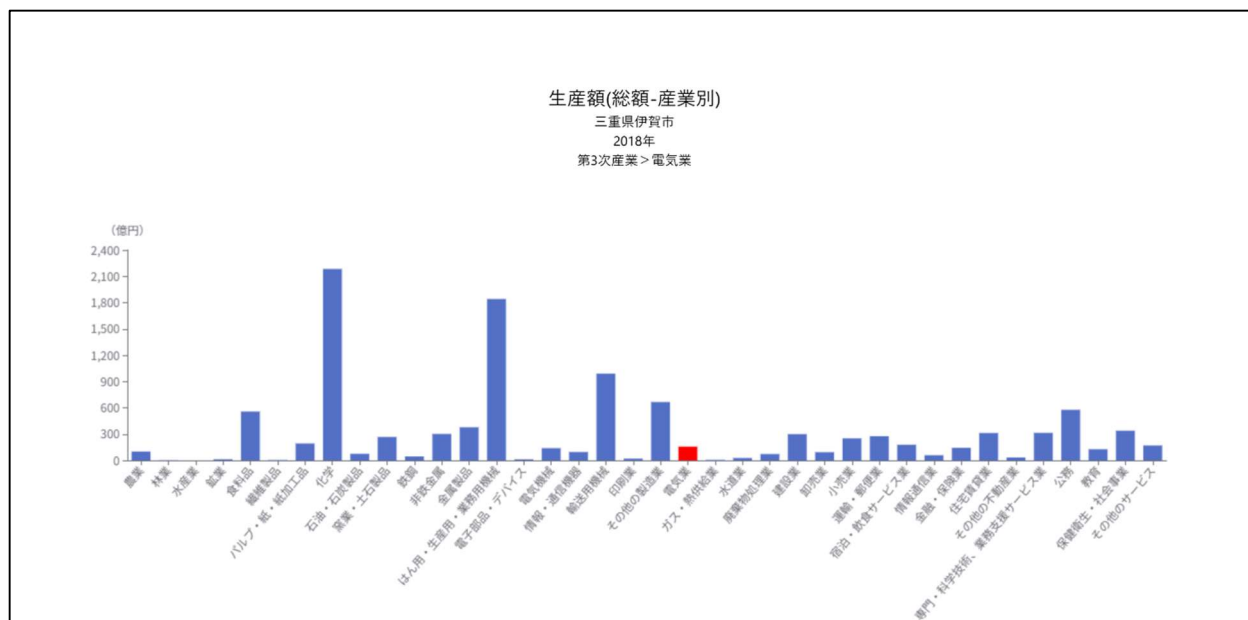
伊賀市商工会

## ①生産分析—生産額（第2次産業）



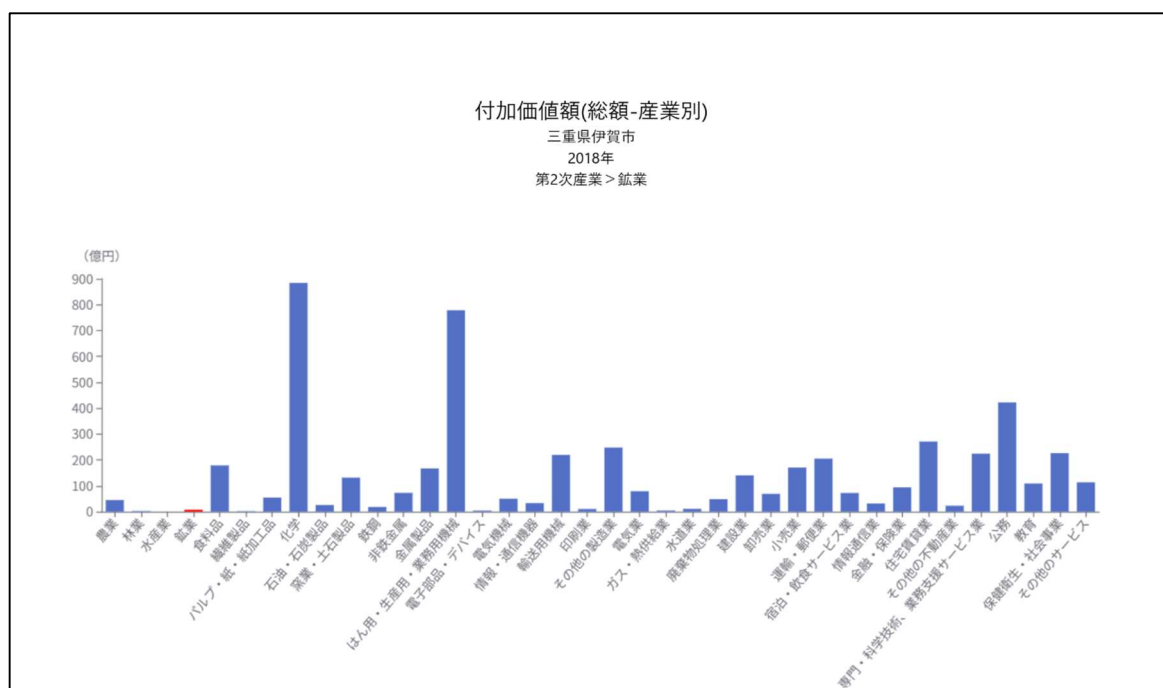
第2次産業は化学、電子部品、輸送用機械が突出して高く、特に化学工業は群を抜く生産額となっている。製造業が伊賀市経済を強く支えていることが読み取れる。

## ②生産分析—生産額（第3次産業）



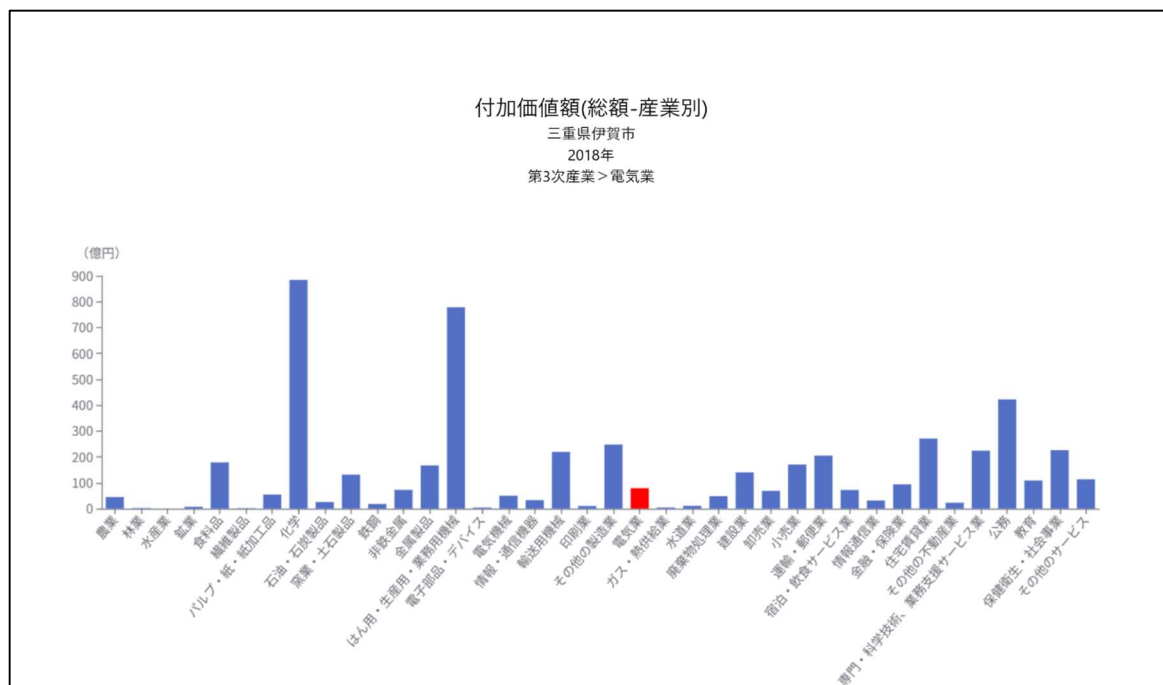
第3次産業は全体として中規模の業種が多い中、公務・医療福祉・不動産・小売業などが比較的高い生産額を示し、地域の基礎サービスを支える重要分野となっている。

### ③生産分析—付加価値額（第２次産業）



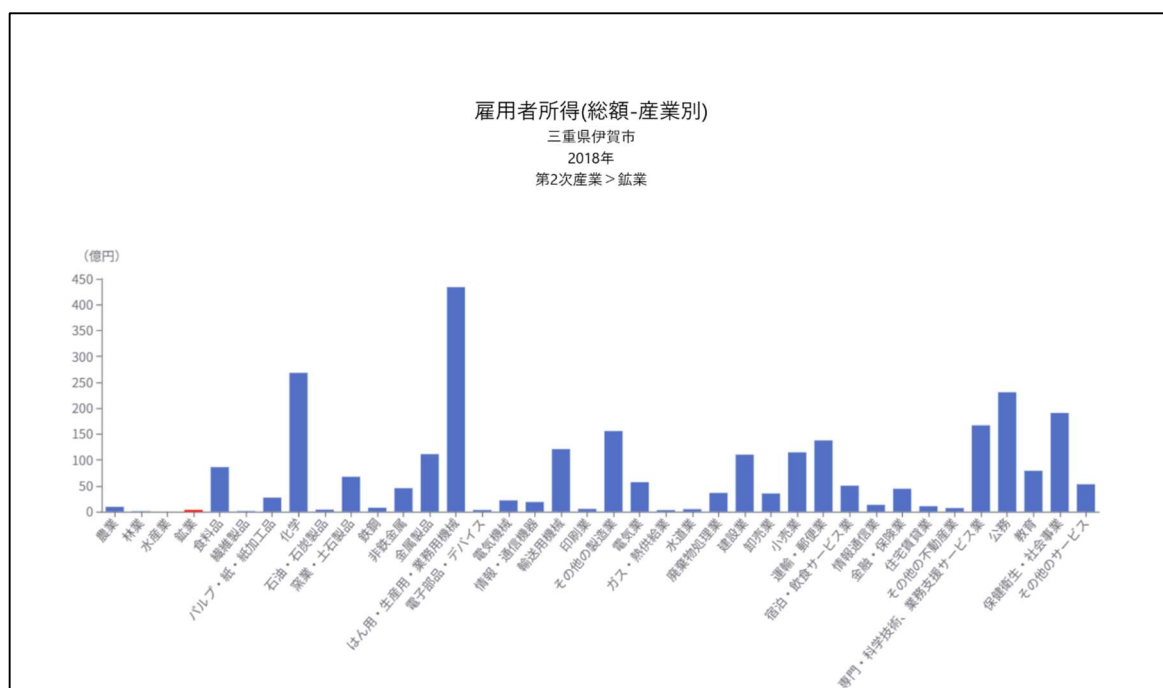
第２次産業では、化学工業と電子部品関連が突出して高い付加価値を生み出しており、次いで輸送用機械などが続く。高付加価値型の製造業が地域経済を強く支えていることがわかる。

### ④生産分析—付加価値額（第３次産業）



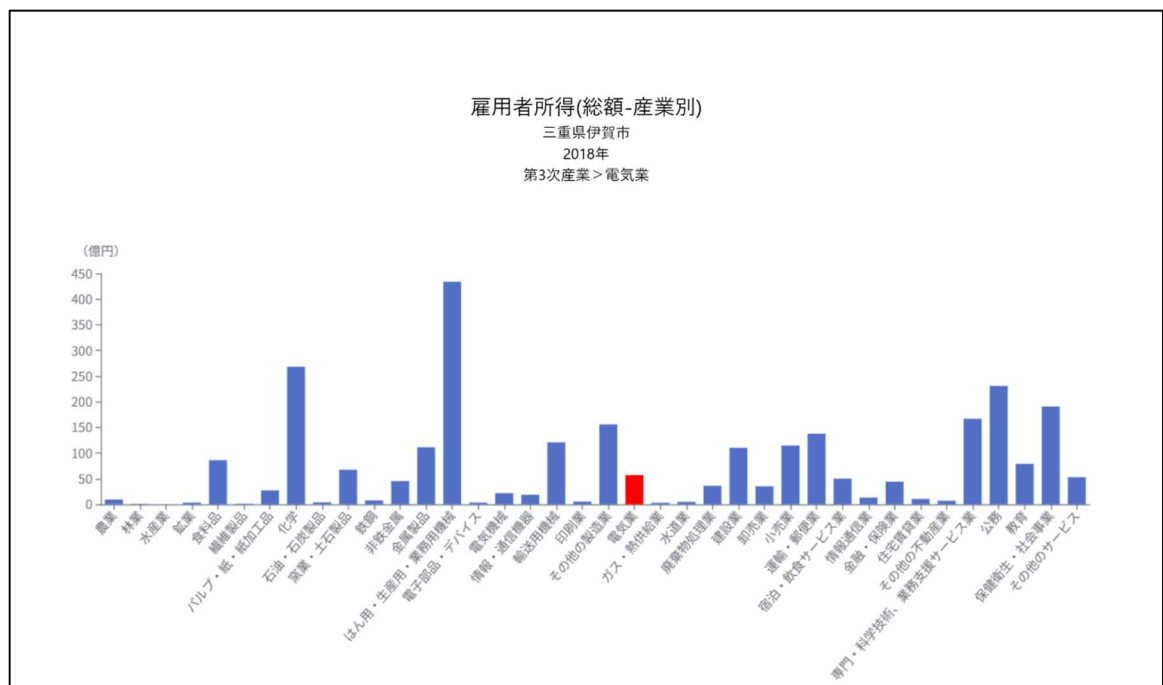
第３次産業では、公務・医療福祉・不動産が高い付加価値を生み出し、小売や各種サービスも一定の水準を示す。生活関連サービスが地域経済を支えていることが読み取れる。

## ⑤生産分析－雇用者所得（第２次産業）



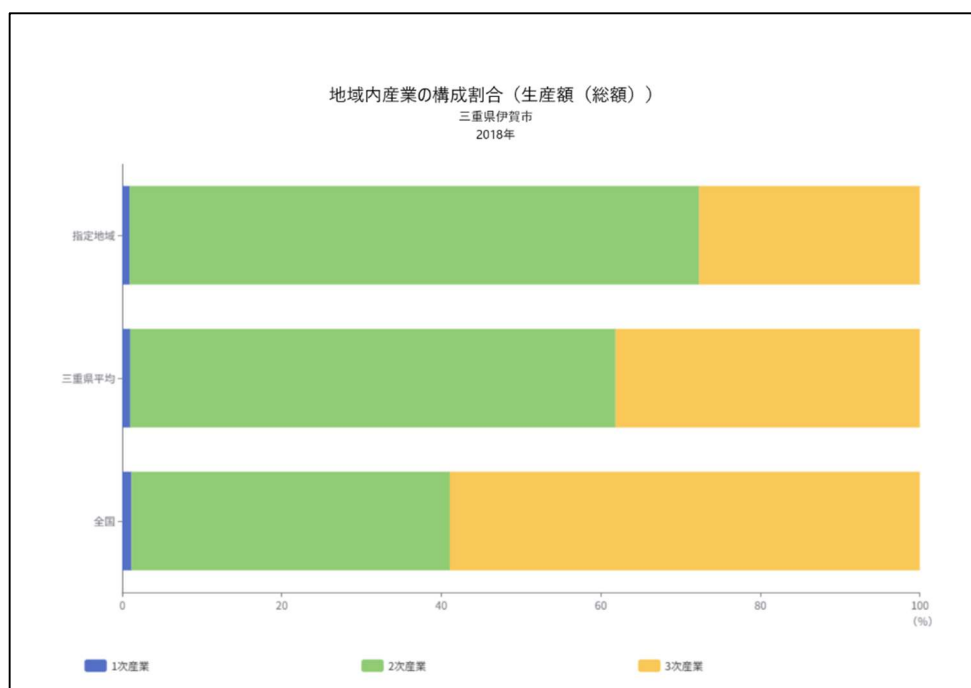
第２次産業では、化学工業や電子部品関連が雇用者所得で突出して高く、輸送用機械も続く。高度な製造業ほど所得が大きく、地域の雇用・所得創出を強く支えていることが分かる。

## ⑥生産分析－雇用者所得（第３次産業）



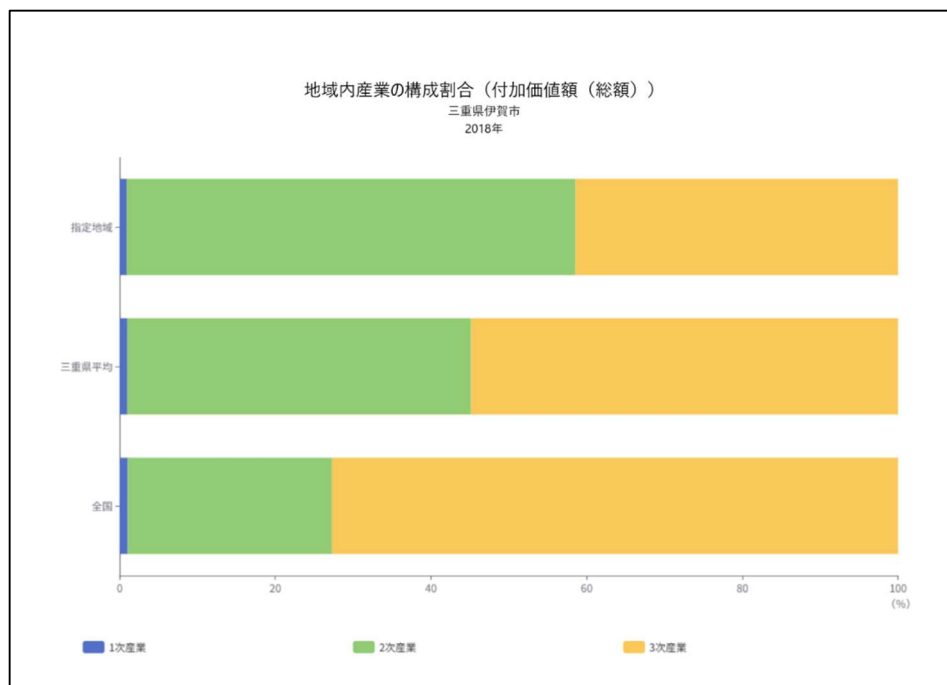
第３次産業では、公務・医療福祉・不動産が比較的高い生産額を示し、小売やサービス業も一定規模を占め、地域の生活・サービス基盤を支える構造となっている。

⑦生産分析―地域内産業の構成割合（生産額（総額））



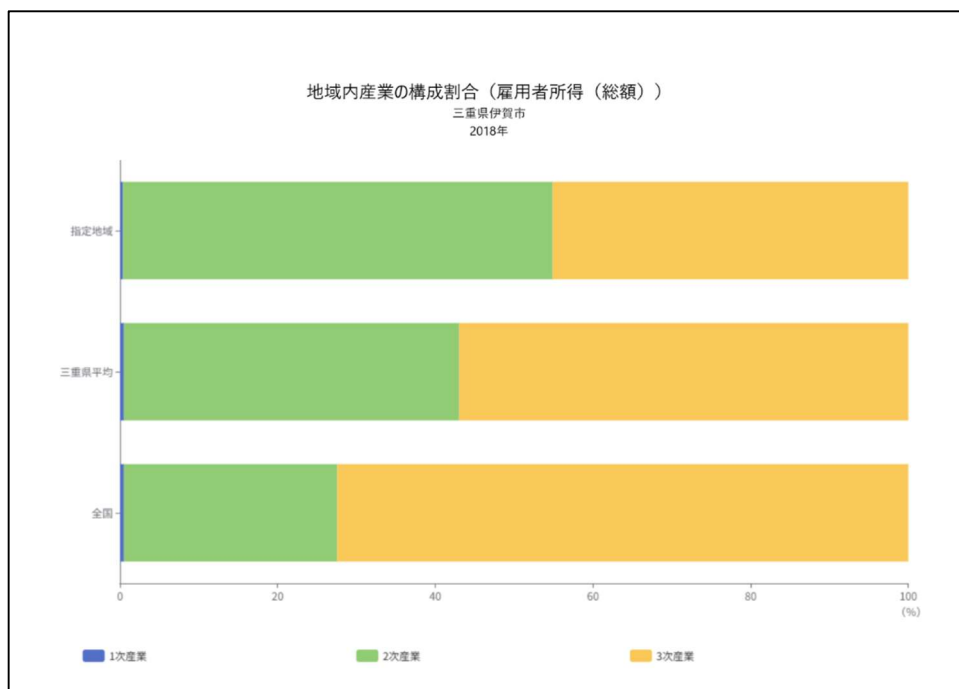
伊賀市は第2次産業の比率が高く、製造業中心の産業構造となっている。三重県平均や全国に比べても第2次産業の割合が大きく、第3次産業の比率は相対的に小さい。

⑧生産分析―地域内産業の構成割合（付加価値額（総額））



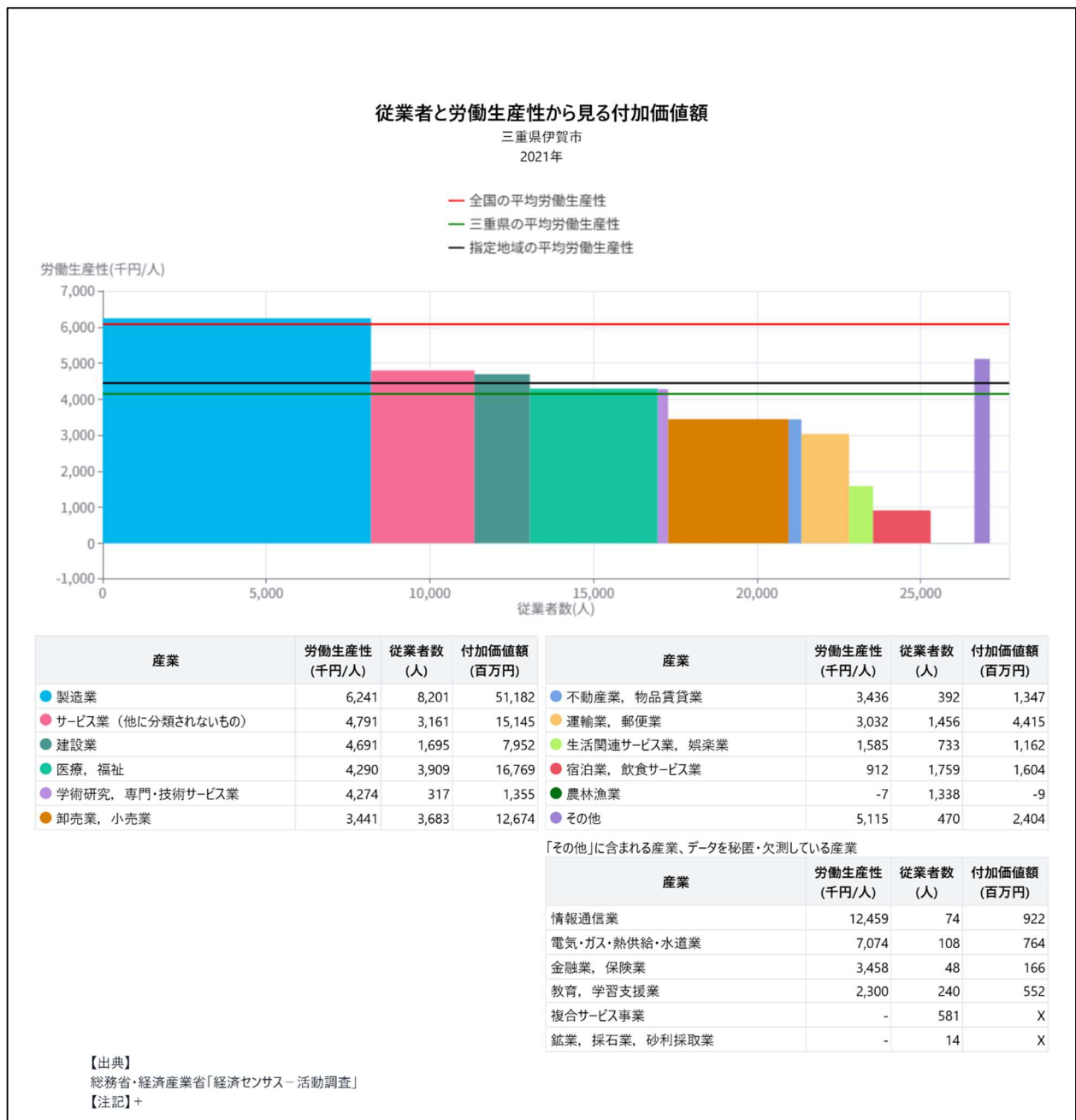
伊賀市は付加価値額においても第2次産業の割合が高く、製造業の付加価値創出力が強い。全国や三重県平均に比べ、第3次産業の割合は相対的に小さい構造となっている。

⑨生産分析―地域内産業の構成割合（雇用者所得（総額））



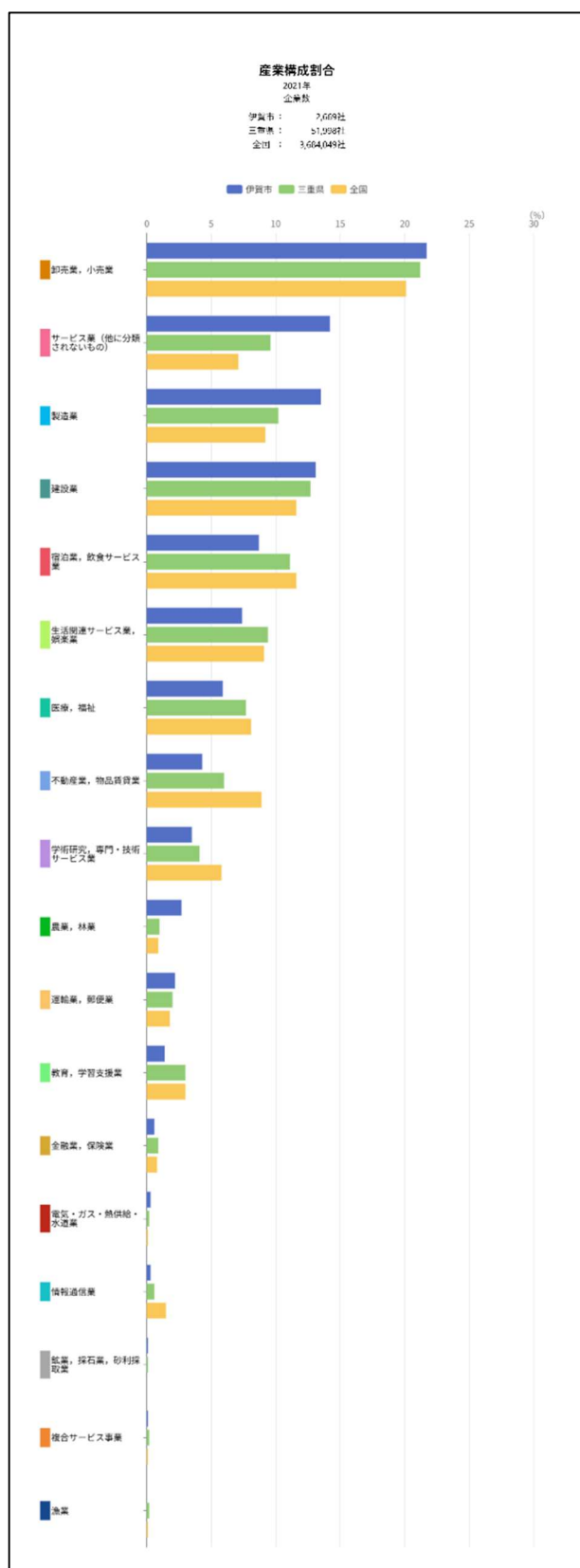
伊賀市は雇用者所得においても第2次産業の比率が高く、製造業が地域の所得源として大きく寄与している。全国・三重県平均と比べ、第3次産業の割合は相対的に小さい。

# ⑩産業構造マップー従業員と労働生産性から見る付加価値額



製造業が最も高い労働生産性と大きな付加価値額を示し、地域経済を強く牽引している。サービス業・卸売小売業なども従業員数が多く一定の付加価値を支える構造となっている。

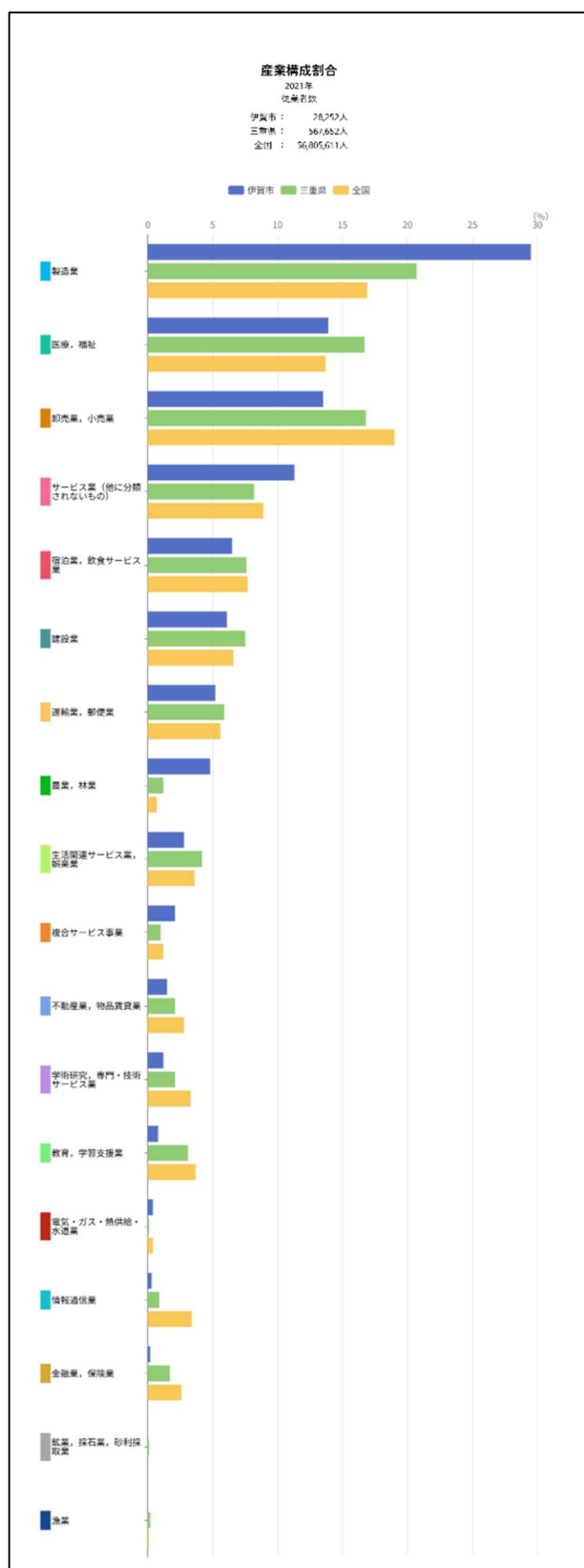
# ⑪産業構造マップー産業構成割合（企業数）



伊賀市は卸売・小売業とサービス業が企業数で最も多く、全国・三重県と比べても比率が高い。製造業の企業数も一定規模を持ち、多様な産業構成で地域経済を支えている。

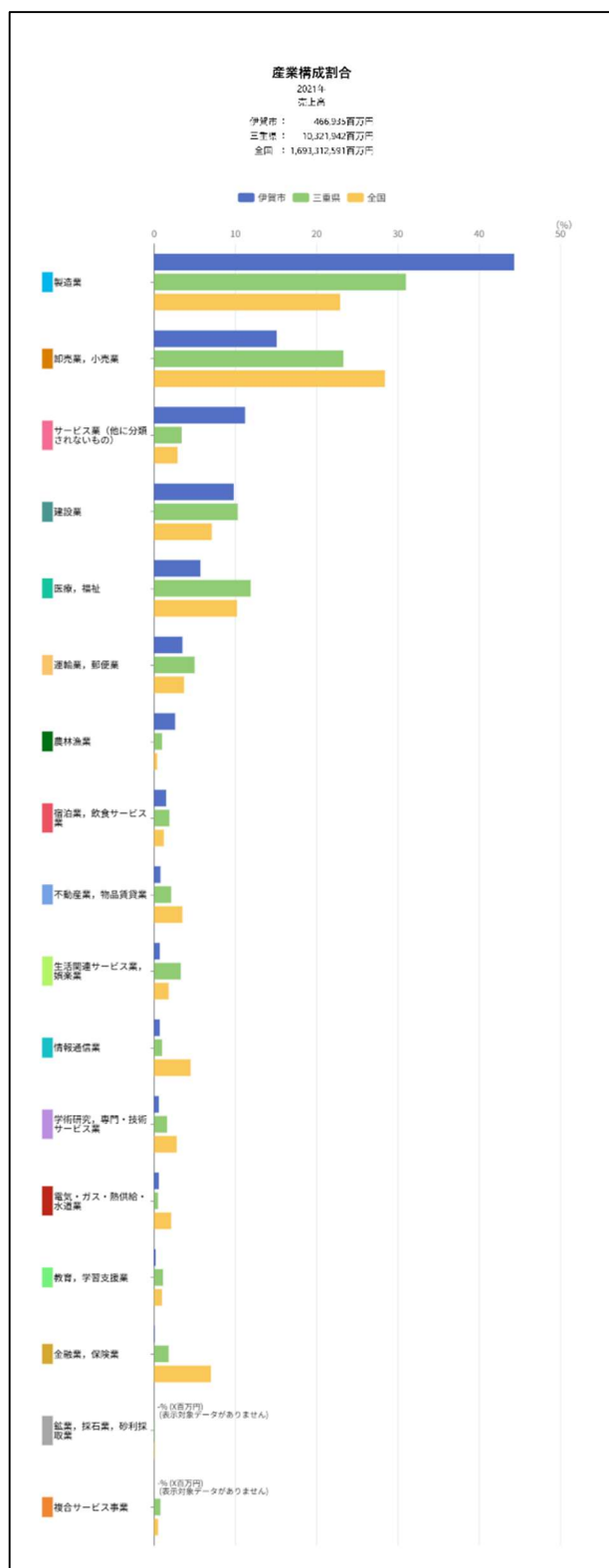


## ⑫産業構造マップー産業構成割合（従業者数）



伊賀市は製造業の従業者割合が全国・三重県より高く、地域の主要雇用源となっている。医療・福祉、卸売小売、サービス業も一定の比率を占め、多様な雇用構造が形成されている。

### ⑬産業構造マップー産業構成割合（売上高）



伊賀市は売上高において製造業の割合が突出して高く、地域経済の中心的役割を担う。卸売・小売業や医療福祉も一定の比率を占めるが、全国・県平均と比べても製造業依存が強い構造が特徴的である。